

コープ災害ボランティア 第38号 ネットワークニュース

2010年4月1日発行
東京都生活協同組合連合会
コープ災害ボランティアネットワーク幹事会
03-3383-7800

2010年
1月23日

第7講～あなたならどうする!?!～ 発災直後のけが人救出劇

阪神・淡路大震災での被害の多くは、家具の下敷きや倒壊家屋の下敷きよるものでした。そして、多くの人が市民の力で助けられました。二次災害など危険伴う、発災直後の怪我人救出の方法や救出するときに注意しなければいけない事を連合東京ボランティアサポートチームの皆さんの救出劇を通して学びました。

救出劇の開幕です!

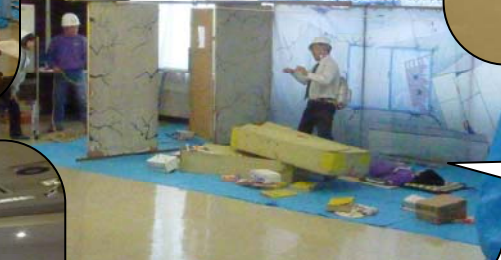
名演技を見せてくれた連合東京ボランティアサポートチームの皆さんです。

舞台は、5人の人が働いているとあるオフィスです。東京地方を震度7の直下地震が襲いました。オフィスの中ではあちらこちらに被害が出ているようです。そんな時、あなたならどう行動しますか?



地震が起きたら、身の安全を確保しよう。

資料室で仲間の1人が書庫の下敷きに...怪我をしていない4人が救助に向かいます。



★★★救助に向かうときは★★★

- ①何人かで救助に当たるときは、必ずリーダーを決めること。
- ②リーダーに指示に従い、行動すること。
- ③現場の状況を調査をして救助に向かうこと。
- ④報告や指示は必ず、復唱し間違った指示や思い込みでの作業を防止すること
- ⑤余震や二次災害に気をつけて行動すること。

応急救護の基礎知識

～三角巾や身近な物を使った応急手当～



三角巾の使い方



ストッキングで応急手当



受講生の感想

- ☆救出劇を見ることで災害現場がより具体的にイメージが出来た。
- ☆ハンマーやジャッキなど身近にあるものが救出の細に役立つことにびっくりした。
- ☆実際に災害にあったら慌ててしまうので、話に聞いただけや本で学ぶことより、劇を見てイメージがより膨らんでとても参考になりました。
- ☆劇の中にはこれまでに講座で習ったことが表現されていたので復習にもなった。
- ☆三角巾の事は知っていたけれど、使い方は知らなかったので教えて頂きとても良かった。
- ☆三角の布一枚で様々な場所に使えることに驚いた。
- ☆ストッキングを利用した応急手当は、簡単に出来、特に頭などの三角巾よりはやりやすかった。
- ☆三角巾はくり返しやらないと忘れてしまうので家に帰って家族を相手に練習をします。